



Cisco Catalyst IE3x00 高耐久性シリーズスイッチのパスワード回復

最終更新：2026年3月25日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>



第 1 章

パスワードの回復

- [パスワード保護されたスイッチの回復 \(1 ページ\)](#)
- [パスワードを忘れた場合の回復 \(3 ページ\)](#)

パスワード保護されたスイッチの回復

Cisco Catalyst IE3x00 シリーズスイッチのパスワードのリセットが必要になる場合があります。指定されたプロセスを実行して、忘れたパスワードが含まれている保存済み起動設定をバイパスし、新しいパスワードを設定します。

パスワードが原因で、Cisco Catalyst IE3x00 スイッチにアクセスできなくなることがあります。この場合、設定を消去せずにアクセスを回復できます。このプロセスにより、保存されているパスワードをバイパスし、新しいパスワードを設定して、通常の運用を復元できます。次の手順に従って、スイッチをリセットして保護します。

パスワードの回復

このタスクを使用してパスワードを回復できます。

イネーブルパスワードに対して、次の手順を実行します。

イネーブルパスワードまたはイネーブルシークレットパスワードに対して可能です。これらのパスワードは、特権 EXEC およびコンフィギュレーション モードへのアクセスを保護するために使用されます。次に、**enable password** は回復できますが、**enable secret password** は暗号化されており、新しいパスワードへの置き換えのみ可能です。

手順

ステップ 1 端末または端末エミュレーションを実行している PC をスイッチのコンソールポートに接続します。次の端末設定を使用します。

例：

```
9600 ポーレート パリティなし 8 データビット 1 ストップビット
```

使用する **show version** コマンドを使用して設定を確認します。通常は 0x2102 または 0x102 です。

ステップ 2 電源スイッチを使用して、ルータの電源をオフにしてからオンにします。

ステップ 2 をシミュレートするには、ノードルートプロセッサ (NRP) またはノードスイッチプロセッサ (NSP) カードを取り外してから元に戻します。

ステップ 3 電源投入から 60 秒以内に端末キーボードの Break キーを押し、ルータを ROMMON 状態にします。

Break シーケンスが機能しない場合での他のキーの組み合わせについては「[パスワード回復中の Break シーケンスに可能なキーの組み合わせ](#)」を参照してください。

ステップ 4 Enter **confreg 0x2142** とプロンプトに入力して、設定をロードせずにフラッシュから起動します。

ルータの復旧とアクセス

a) Enter **reset rommon 2**> プロンプトで。ルータが再起動しますが、保存されている設定は無視されます。

```
System Bootstrap, Version ... [システムが起動し、スタートアップ設定を無視するようにコンフィギュレーションレジスタが設定されます]
```

b) Enter **有効 Router**> プロンプトで。有効モードになり、**Router#** プロンプトが表示されます。

```
Switch> enable Switch#
```

c) Enter **configure memory** または **copy startup-config running-config** を入力して、不揮発性 RAM (NVRAM) をメモリにコピーします。

```
Switch# copy startup-config running-config Destination filename [running-config]? RETURN キーを押して確定します。[OK]
```

d) Enter **write terminal** または **show running-config** を入力してルータの設定を表示します。この設定では、すべてのインターフェイスで **shutdown** コマンドが表示されます。これは、すべてのインターフェイスが現在シャットダウンされていることを意味します。また、パスワード (イーネブルパスワード、イーネブルシークレット、vty、コンソールパスワードなど) は、暗号化形式または非暗号化形式のいずれかで表示されます。暗号化されていないパスワードは再利用できますが、暗号化されているパスワードは新しいものに変更する必要があります。

```
Switch# show running-config Building configuration... Current configuration : N bytes ...
interface GigabitEthernet1/1 shutdown ... enable secret 5 $1$abcd$EfgHijKlmnop ...
```

設定の回復と完了

a) Enter **configure terminal** と入力して変更します。

```
Switch# configure terminal 1 行ごとに 1 つの設定コマンドを入力します。CNTL/Z で終了します。Switch(config)#
```

b) Enter **enable secret <<パスワード>** と入力して変更します **enable secret password**.

```
Switch(config)# enable secret <password> Switch(config)#
```

c) 使用するすべてのインターフェイスで **no shutdown** コマンドを実行します。この **show ip interface brief** コマンドを発行した場合は、使用するすべてのインターフェイスが **up up** である必要があります。

```
Switch(config)# interface GigabitEthernet1/1 Switch(config-if)# no shutdown
```

d) Enter **config-register 0x2102** または **ステップ 2** で記録した値を入力します。

```
Switch(config)# config-register 0x2102
```

- e) Ctrl+Z キーまたは END キーを押してコンフィギュレーションモードを終了します。プロンプトは hostname# に変わります。

```
Switch#
```

- f) Enter **write memory** または **copy running-config startup-config** と入力して変更を確定します。

```
Switch# write memory Building configuration... [OK]
```

Enter なし 各セットアップの質問の後に、Ctrl+C キーを押して初期セットアップ手順をスキップします。

パスワードを忘れた場合の回復

パスワード保護されたスイッチを回復できます。忘れたパスワードが含まれている起動設定をバイパスし、パスワードをリセットするためにブートローダープロンプトの変数を変更するには、次の手順を実行します。

Before you begin

- パスワードの回復を無効にしていない場合にのみ、次の手順を実行してください。
- パスワードの回復を無効にしている場合は、スイッチの設定を完全に消去することで、パスワードの紛失または失念から回復できます。詳細については、『[Cisco Catalyst IE3x00 高耐久性シリーズ スイッチ ハードウェア設置ガイド](#)』を参照してください。

手順

ステップ 1 スイッチをオンにして、Express Setup ボタンを約 10 秒間押します。

- 自動ブートシーケンスが停止し、スイッチがブートローダー (rommon) モードになります。詳細については、『[Cisco Catalyst IE3x00 高耐久性シリーズ スイッチ ハードウェア設置ガイド](#)』を参照してください。
- スイッチプロンプトが rommon モードで表示されます。

```
switch:
```

ステップ 2 設定なしでスイッチを起動するには、このスイッチ変数を設定します。

```
Switch: SWITCH_IGNORE_STARTUP_CFG=1
```

これにより、保存された起動設定がバイパスされます。

ステップ 3 このコマンドを入力して、スイッチを起動します。

```
Switch: boot
```

スイッチの起動プロセスが完了したら、現在の未設定のスイッチを使用して、フラッシュファイルシステムから起動設定を回復し、以前の設定を保持することができます。起動後は、パスワードなしでスイッチにログインできます。

ステップ4 ログインしたら、保存された設定を `startup-config` から `running-config` にコピーします。

```
Switch# copy startup-config running-config
```

ステップ5 新しいパスワードを設定します。

```
Switch# configure terminal
```

```
Switch(config)# username admin and password admin
```

ステップ6 以前に設定したスイッチ変数をブートローダーから削除します。

```
Switch(config)# no system ignore startupconfig switch all
```

ステップ7 これらのコマンドのいずれかを実行して、新しい設定を保存します。

```
Switch# write memory
```

または

```
Switch# copy run start
```

スイッチは、保存された設定を今後のブートアップ時にロードします。

(注)

次の `no system ignore startupconfig switch all` および `write memory` コマンドを実行しない場合、スイッチは以後のリロード時に設定なしで起動します。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2025 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。